

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名：志木市立 志木第三 小学校 第 4 学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語	<p>○平均正答率は県・市を上回っている。</p> <p>○教科の領域では「話す・聞く・書く・読む・言語事項」ともに、県や市の平均正答率を上回った。特に「言語事項」については全ての問題について県の平均正答率を上回った。</p>	<p>○条件に沿って、理由をあげながら自分の考えとその理由を二段落構成で書くことに課題がある。無回答率も3割を超える。</p> <p>○文章を読み、話題の中心を理解し書く抜くことに課題がある。短答式の問題でも、正答率が低い。</p> <p>○漢字の意味を理解し、その語句の対義語について理解することを苦手としている。</p>	<p>○自分の考えをもち、なぜそう思ったか理由を説明できるようにさせる。書く活動では段落、構成を意識して書くようにさせる。</p> <p>○年間指導計画を見直す。</p> <p>○系統性を考慮して指導する。</p> <p>○問題に対してじっくりと考えさせ、見直しをする習慣を身につけさせる。</p> <p>○辞書などを使って分からない語句を自主的に調べる習慣をつけさせる。</p>
算数 数学	<p>○平均正答率は県・市を上回っている。</p> <p>○教科の領域では「数と測定、図形、数量関係」で、県や市の平均正答率を上回った。</p> <p>○「量と測定」の問題については平均正答率が大きく上回った。</p>	<p>○数量・図形技能が県や市を約2～3%下回った。</p> <p>○数直線の分数の表し方、棒グラフの軸の読み取り、球の半径の求め方に課題がある。</p> <p>○数と計算の問題においてもミスが目立つ。理解をしていないのかケアレスミスなのかを分析する必要がある。</p>	<p>○T・Tによる習熟度別学習を取り入れることで、確実な計算技能の習得を図る。</p> <p>○量感を意識した授業展開を考えたり、最初の時間に量感に関わる問題を出したりする。</p> <p>○各学年の系統性を生かして指導する。</p> <p>○作図やグラフの読み取りなどの問題を宿題にも出して、繰り返し学習するようにさせる。</p>
児童 生徒 質問 紙	<p>○「規律ある態度」の達成目標についてはおおむね県と市を上回った。</p> <p>○勉強することが楽しく、好きであると答えた児童が多い。</p> <p>○勉強を試行錯誤しながら最後まであきらめずに工夫して取り組んでいる児童が多い。</p> <p>○家にたくさん本があり、読書をする時間も多く、読書週間が身につけている児童が比較的多い。</p>	<p>○身の回りの整理整頓が県の達成率より低い。</p> <p>○自分で計画を立てて勉強することが比較的できていない。</p> <p>○土日、平日の家庭での学習時間が少ない。</p> <p>○授業に必要な学習道具を忘れる児童が多い。前日に準備をしたり、何度も確認をする習慣が身につけていない。また、忘れ物に対する意識が低い。</p>	<p>○整理整頓されている状態のモデルを示す。定期的にチェックし、常に整頓する習慣を身につけさせる。</p> <p>○見通しを持たせ、時には計画表などを活用して学習を進めさせる。</p> <p>○学習を継続する意義を確認し、家庭との連携も図る。自主学習など家庭での学習の仕方を示してあげる。学年×10分を家庭学習の時間の目安とする。家庭学習のスタイルが確立するとより効果を発揮できる。</p> <p>○自力解決の場合、発表により深め合う場を今後も多く設定していく。</p>

